



DISTRICT 2500

# OBIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と育み地域にロータリー理念を生かそう

会長 奥原 宏

No.3013

第3331回例会

平成25年1月23日

2012-13年度国際ロータリーのテーマ 奉仕を通じて平和を

1月9日例会 会員総数88名(内免除会員5名)

出席  
報告

出席者数 78名

欠席者9名  
(出席5名)

0

(名)

メイクアップ1名

## ■プログラム「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ 歴史を識ずして未来を語るなかれ」



白石 俊之 会員(記録保存委員会)

久しぶりに卓上にあがりました。通常は杖を持ち、白内障のためサングラスを愛用しているお爺さんです。

私のような知力も気力も体力も財力ない男が皆様のような名士の方々前で卓話をするのは面はゆいのですが、私の哲学では退会をしないことが最大の奉仕であることです。

今回このような機会が与えられたのは、最近寂しそうにしている私への平原委員長の友情です。感謝いたします。

さて本題に入りますが、人類が発生以来、歴史とか記録などの概念が生じる以前から記憶の一助として壁画や口承による語り部がありますことはご案内のとおりです。

発生以来、80年近くの歴史のある本クラブにも多くの書籍、文献記録がありますが、これらの散逸を防ぐために田中様はご苦勞されてまいりました。1989-1990年度の大滝信臣会長時代に文献記録が正式に発足し現在にいたっています。さらに林光繁会長時代に「帯広RC文献一覧」を作成し文献活用の一助になっております。

この文献一覧の中で各種、記録、雑誌を除いて先人が纏められたものが150編余があります。勿論世界での文献は数えきれないほどあります。帯広RC関係の文献は宮脇あつし会員2編、西川義正会員1編、帯広RC発行は4編ありますが特筆すべきは田中 弘会員は8編の著書書があります。これは帯広RCへの情熱と思入れの深さを伺われます。この中のいくつかにつきまして、浅学な私ですが不遜とは知りながらコメントさせていただきます。非才による理解不足、読み間違い、内容把握力の欠如はお許してください。

### 1) 初期ロータリーの活動

ロータリーの発生から初期のロータリーアンの肖像と足跡がまとめてあり日本のロータリー、帯広RCの創立についての記載がされております。読みやすいものです。

### 2) 奉仕クラブのあれこれ

世界の奉仕クラブの奉仕哲学と歴史を纏めたものです。ライオンズクラブ、青年会議所、キワニス、セルトマなど19団体です。参考になります。

### 3) 国際ロータリーと女性会員問題

ロータリーの発生と歴史の中で女性会員観を良く纏めてあります。女性会員と叱られますが女性会員必読の書です。ロータリーに参加するにあたっての女性側の意向、意志、思考、思想。考え方などがみられないのが残念です。ただ私は幼稚園から大学まで共学でしたので一緒になって行動することは普通と考えております。

### 4) ロータリーへの独言

1991-92年の地区ガバナー時代に書きとめたもの、講演原稿、演説などが纏められたものです。ロータリーへの熱意と知識とほとぼしる愛情に感激しました。これからの会長、幹事、ガバナー、ガバナー補佐にノミネートされる方々の必読の書でありメ

ッセージであります。ただロータリーの役職は与えられてから勉強するものではなく、日頃勉強した知識を実践の場で活用し会員をリードするものであります。

### 5) ロータリー雑録 その1 その2

これも会員の必読の書であります。ロータリー歴の新しい方も経歴の古い方もロータリーは難しく奥が深いと言われますが、この書物はかなり平易な文章で読物感覚で読破できるものです。

田中氏論文というより、田中様からの個人当てのお便りとして是非お読みください。ロータリーの創設時代のアメリカの環境状態から、草創期に足跡をのこした偉人達の生い立ち、哲学、思想、業績を面白く簡明にまとめられており、さらに、日本における草創期の指導者につき詳記されております。

さらに戦後のロータリー指導者であり、札幌RC時代にガバナーを務められた宮脇あつし氏が月掲載されております。かつて問題になった大連RC「ロータリー宣言」の詳細と「日満ロータリー連合会」の設立の意欲につき解説してあります。

その他、職業奉仕の「道德律」社会奉仕に関する「決議23-34」職業奉仕の概念や「例会出席の意義」「ポリオプラス」「ロータリーソングへの考察」など学びながら楽しく理解することができます。

当クラブでは幸いに田中様の卓話を聞く機会は頻繁にあります。豊富な知識と学識をユーモアある語り口でたのしんでおりますが、話術には少し「照れ」がありますが著書を拝読しますと卓抜な文章力に感動し敬意を表します。クラブ仲間の田中氏の著書であり、先輩としての哲学、思想、人生の指針としての参考資料として一読を勧めます。それがメンバーとしての礼儀であり、帯広クラブ会員としての誇りであります。

結語 高校、大学、ロータリーの先輩である田中様の論文を紹介しながらロータリー哲学を2つのべました。

### 1) 退会しないことが最大の奉仕である。

2) 80周年時に会長になる合田様も高校、大学もおなじキャンパスで過ごし2回後輩であるので苦言を述べさせていただきます。

私の入会時の推薦者も同じ高校、大学の先輩であるが、入会時の指示は「ロタキチ」になるなということで、それを守ったのでこの程度の会員になったので、合田会員には田中様にみない「良い意味でのロタキチ」になって我々を指導していただきたい。

## ■会長報告

奥原 宏 会長



厳寒の折、会員の皆様、体調は大丈夫でしょうか。毎日寒い日が続いております。新年の挨拶廻りで身体が疲れている時です。十分に睡眠をとって疲れを取っていただきたいと思います。また、帰宅時には必ずうがいをお勧めいたします。

先週、自己都合で例会を休ませていただいた関係で、和田副会長に会長報告をお願いいたしました。今月がロータリー理解推進月間であることに多く触れていただきましたので、今週はロータリーの機関誌である「ロータリーの友」について少々触

れて会長報告とさせていただきたいと思います。

私は、今日は友誌の1月号を持ってまいりました。会員の皆様にとって月刊誌である「ロータリーの友」は歴史が古く、既に60年を数えることになったそうであります。今月号に特集が組まれていますので、是非一読いただきたいと思います。

また友誌には、今年RI会長である田中作次氏が色々なことに触れております。

今月は「ロータリーの徽章をいつもあなたの襟に」と題して、ロータリアンの自覚に触れています。さらにページを開くと「新しいロータリーを知る」と題し、ロータリーの目的とRI戦略計画の理念について触れております。また、毎号数多くのロータリアンからのメッセージがたくさん寄稿されていますので、ロータリーを楽しもうとしている多くのロータリアンの話に少し耳を傾けてみたいものです。

■会務報告 後藤 健二 幹事

①帯広5RC、芽室RC、音更RC、合同例会開催のご案内

日時 2月4日(月)  
会食 11:45～  
例会 12:15～13:30

場所 北海道ホテル  
講師 筑波大学大学院名誉教授/国際アジア共同体学会会長 進藤 榮一 様

演題 ーアジア力の世紀をどう生き抜くかー

- ※尚、帯広東RC、2月5日(火)の繰上げ例会と致します。  
帯広RC、2月6日(水)の繰上げ例会と致します。  
帯広西RC、2月7日(木)の繰上げ例会と致します。  
帯広北RC、2月8日(金)の繰上げ例会と致します。

②帯広RC、第5回クラブ協議会開催のご案内

日時 2月13日(水)午後6時  
場所 ホテル日航ノースランド帯広  
会費 2,000円

③帯広RAC、例会開催のご案内

日時 1月19日～23日(水)  
場所 グリーンパーク(氷まつり会場)

内 容 氷まつり(雪像づくり)(社会奉仕委員会)

■委員会報告

・米山功労者表彰 石神 美代 米山記念奨学委員長



米山功労者感謝状

- 第7回マルチプル表彰 渡辺喜代美 会員
- 第4回マルチプル表彰 奥 周盛 会員
- 第2回マルチプル表彰 小澤 昌博 会員
- 第2回マルチプル表彰 酒井 敬司 会員
- 第1回功労者 表彰 後藤 健二 会員

・出席報告

小水 基弘 出席委員長

1/23例会の報告 会員総数88名 内免除会員5名 出席者数55名  
1/9例会の報告 メークアップを含む出席者数79名 出席率91.9%

・ニコニコ献金

大和田 三朗 親睦活動委員

白石 俊之 会員

文献保存委員会の平原先生に依頼されて、本日卓話をいたします。視力障害、言語障害がありますので、お役に立つかわかりませんが、責任は果たします。

平原 隆 会員

本日の卓話を企画させて頂きました。

加藤 維利 会員

かに大将の三浦さん先日はありがとうございました。

■お誕生祝い 中森 保 会員

■次週プログラム予定

1月30日(水)「ひろがれ！人づくりの輪(ロータリー米山記念奨学事業の今)(ロータリー情報委員会)」

RI2500地区米山記念奨学会運営委員副委員長 讃岐 武史 会員

ロータリーだより

平成25年1月24日に北海道ホテルにて「ロータリーの友」勉強会が開催されました。帯広RCからは奥ガバナーノミニ、渡辺会長エレクト、後藤幹事、広報委員長の太田の4名が参加しました。

ロータリーの友編集長でロータリアンの二神典子氏(東京築地RC)を講師に迎えて開催されました。参加者は第六分区の10クラブより多くの役員や広報にかかわる会員が出席しました。

ロータリーの友はRIの公式地域雑誌として今年創刊60周年を迎えます。皆様もご承知だと思いますが、ロータリーの友は横組みのページと縦組みのページがあります。なぜ横と縦があるのかというと横組みのページは公式記事、RI指定記事、RI会長メッセージ、RIが力を入れていることを特集しているそうです。一方、縦組みのページは日本のロータリアンをつなぐ場なので、クラブや奉仕活動の紹介や近況報告など各クラブからの投稿記事が載っています。

講師からはロータリーの友の投稿は西高東低で西日本からの投稿が圧倒的に多く、東日本のクラブからの投稿は少ないとのことでした。要因としては西日本のクラブは投稿して掲載されれば儲けものという考え方なのに対し、東日本のクラブはロータリーの友への投稿は敷居の高いものと感じ、何か変わったもの、日本初とか大きな事業でなければ投稿をためらってしまうのではないかとのこと。掲載されるかどうかは別として、気軽に投稿をお願いしたいとのことでした。

さらには掲載されるためにはちょっとしたコツがあるということで、いくつか教えていただきました。

まずは写真が大切なようです。読者に記事を読んでもらうには生き生きとした写真が決め手だそうです。掲載される理想的な写真とはどのようなものでしょうか。1.活動の様子がよくわかること。2.参加者がわかること。3.集合写真(記念写真)ではないこと。4.あけています。そして、理想的な原稿とはどのようなものでしょうか。1.言いたいことを簡潔に。2.読者が知りたいと思うことに気を配る。3.読者はあなたのクラブを知らないということを意識して原稿を書くということです。雑誌の記事も新鮮な方が魅力的です。採用されロータリーの友に掲載されるのに2～3か月かかりますので、写真や記事は一か月以内に投稿してください。また、ロータリーの友事務局がクラブの会報を読んで記事にすることもあるそうなので、クラブ会報をロータリーの友事務局まで送ってくださいとのことでした。



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日/水曜日 12:30～13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

- 創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日
- 事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行/クラブ広報
- 委員長/太田 隆博・副委員長/藤森 裕康
- 委員/中森 保・山本昭一郎・麻生 幸雄・阿部 幹男・加藤 恭一・三浦 啓哉
- ホームページアドレス /http://www.obihiro-rc.jp

